

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成 29 年 3 月 29 日

計画の名称	1 小野市における水環境の整備		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成26年度 (4年間)	交付対象	小野市
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を形成する。		
計画の成果目標（定量的指標）	・ 下水道処理人口普及率を85.1%（H23）から86%（H26）に引き上げる。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H23当初) 中間目標値 (H24末) 最終目標値 (H26末) 備考
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用出来る人口（人）／総人口（人）	85.1%	85.4%	86.0%
全体事業費	合計 (A+B+C)	107百万円	A 95百万円 B C 12百万円 効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) 11.2%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
小野市水道部	H29. 2 公表の方法 小野市ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-5	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第9B汚水幹線枝線 (面整備)	φ 150 ~ 200 L=2000m	小野市						23	
A1-6	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第4A汚水幹線枝線 (面整備)	φ 200 L=300m	小野市						9	
A1-7	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第9A汚水幹線枝線 (面整備)	φ 150 L=250m	小野市						0	
A1-8	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第23汚水幹線枝線 (面整備)	φ 75 ~ 150 L=250m	小野市						0	
A1-9	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第17A汚水幹線枝線 (面整備)	φ 75 L=520m	小野市						0	
A1-12	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第28汚水幹線	φ 300 L=800m	小野市						48	
A1-13	下水道	一般	小野市	直接	—	汚水	新設	第8汚水幹線枝線 (面整備)	φ 200 L=300m	小野市						15	
合計 (下水道事業)															95		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C1-2	下水道	一般	小野市	直接	—	新設	第9B汚水幹線枝線（面整備）	φ150 L=1000m	小野市						11	
C1-3	下水道	一般	小野市	直接	—	新設	第4A汚水幹線枝線（面整備）	φ200 L=200m	小野市						1	
														合計	12	
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
C1-2	基幹事業である(A1-5)と接続した枝線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。															
C1-3	基幹事業である(A1-6)と接続した枝線整備を一体的に行うことによって、未普及解消が促進される。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・汚水の面整備を精力的に整備した結果、整備人口が増え快適な生活を営む人が増えた。														
--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道 処理人口普及率）	最終目標値	86.00%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	86.00%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			

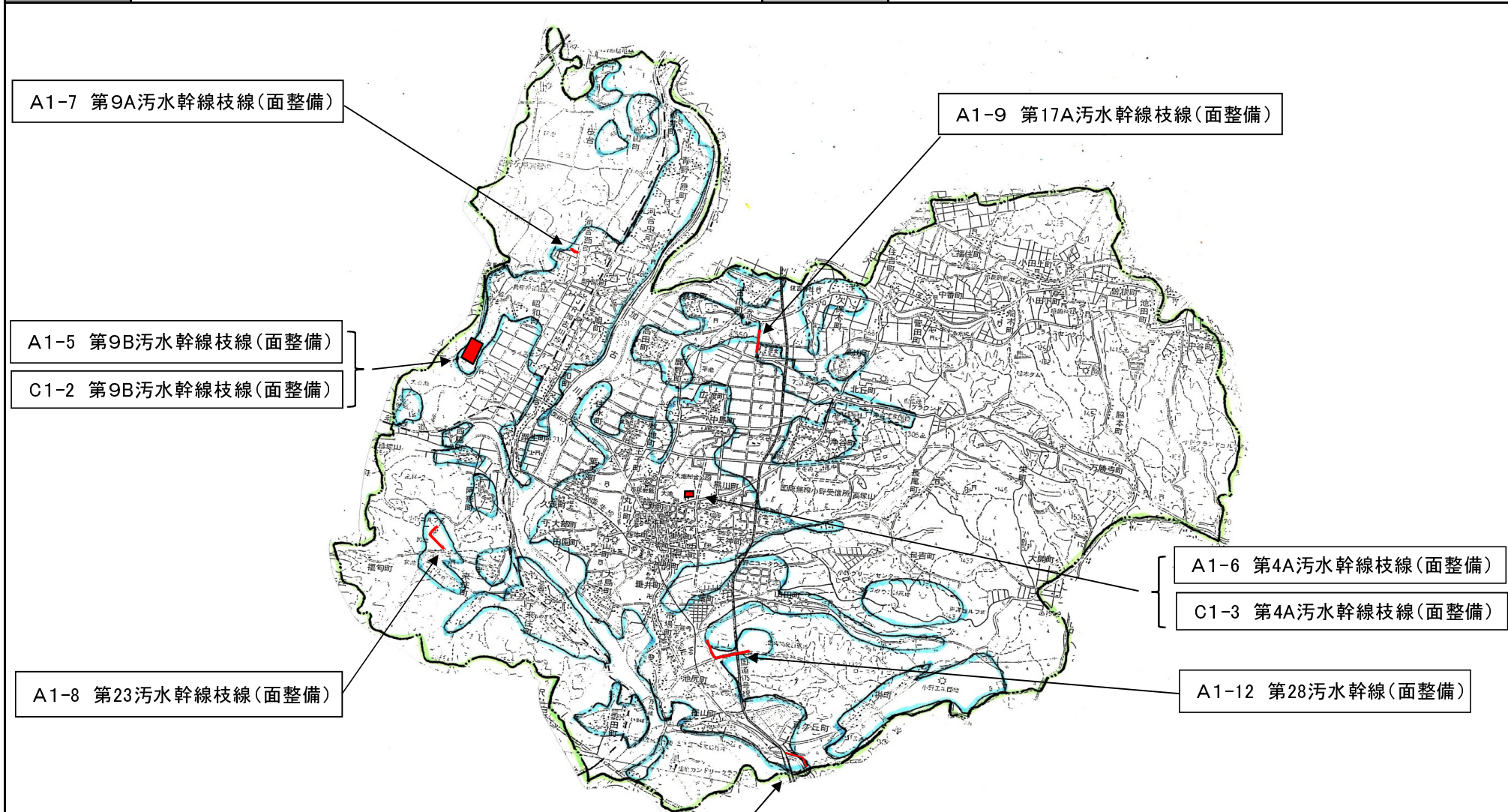
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)															
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・公共下水道は既成しており、今後は、区画整理や開発地の整備を行っていく。															
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

水の安全・安心基盤整備（污水）

計画の名称	1 小野市における水環境の整備	交付対象	小野市
計画の期間	平成23年度～平成26年度（4年間）		



凡 例	
	主要管渠整備(未普及解消)
	下水道法による事業計画区域(污水)
	行政区域界